

関宿水閘門



場所 茨城県猿島郡五霞町 山王地先

概要

利根川から分流した江戸川の流頭部にあり、昭和2年（1927）年に設けられた。江戸時代、江戸川流頭部で活躍してきた棒出しに代わり、利根川から江戸川に流れる水量を調節することと、船を安全に通す役割を担った。

基礎となる堰柱、翼壁ともにコンクリートが採用されているが、隅石などには花崗岩の石張りが施してあり、見た目はレンガ造りの水門様式を残しているのが特徴。周囲の自然とともに美しい景観を作り出しており、平成15年度には土木学会選奨土木遺産に選定され、水閘門の上部は歩いて渡ることができる。

体験や学びの内容

史跡の見学（歴史的建造物）美しい景観
利根川改修事業のシンボリック存在で数少ない大型水門

問合せ

江戸川河川事務所
04-7125-7311



自然拠点

文化拠点

景観 生物 地物・現象 公園 史跡 行事 産業・伝統 食 交流・学習